

9 わり算の筆算を考えよう

特長

ご採用教科書の
内容を詳細に分析。
実際の学習の流れに
そった指導案づくりに。

【単元の到達目標】

- 筆算形式による2～3位数を2位数でわる除法計算の仕方を知り、正しく計算することができる。
- 除法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算に生かすことができる。
- 被除数、除数、商及び余りの関係をまとめ、計算の確かめに用いることができる。
- 末尾に0のある数の除法の簡便な計算の仕方を知り、活用することができる。

【学習指導要領】

特長

学習指導要領との
関係を提示。

A 数と計算

- (3) 整数の除法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。
- ア 除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算の仕方を考え、それらの計算が基本的な計算を基にしていることを理解すること。
- イ 除法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。
- ウ 除法について、被除数、除数、商及び余りの関係を調べ、次の式にまとめること。
(被除数) = (除数) × (商) + (余り)
- エ 除法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。

【単元の観点別評価規準】

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技 能	数量や図形についての 知識・理解
○既習の除法計算の仕方を もとに、除数が2位数の 除法計算の仕方を進んで 考えようとしている。	○除数が2位数の場合の仮 商のたて方や修正の仕方 について考え、表現して いる。	○筆算形式による2～3位 数を2位数でわる除法計 算の筆算の仕方を知り、 正しく計算することがで きる。	○除数が何十の除法計算の 仕方を理解している。 ○除数が2位数の除法計算 の筆算の仕方を理解して いる。

【関連する内容】

- | | |
|------|-----------------|
| 2・3年 | 2・3位数の減法計算 |
| 2年 | 乗法九九 |
| 3年 | 除数と商が共に1位数の除法計算 |

特長

スパイラルなカリキュラム構成に
対応。関連する既習内容を提示。

【新しい用語・記号】 なし

特長

新学習指導要領で重視された
「算数的な用語」についても表示。

〈 〉は時間配分のためです。

小単元名	到達目標（活動目標）	評価規準	評価の観点				評価の方法例	算数的活動
			関・意・態	考・え・方	技・能	知・理		
① 何十でわる計算 2時間	(1) 何十でわる計算（あまりなし）の仕方を知り、その計算ができる。 〈1時間〉	①60枚の色紙を20枚ずつ分けると何人に分けられるか立式できる。 ②答えを図からそれぞれ10を6、2あることから、10をもとに考えると、 $6 \div 2$ と答えが等しいと言える。 ④ $60 \div 20 = 3$ を10をもとにして、 $6 \div 2 = 3$ とすればよいことを説明できる。 ⑤10をもとにして、九九を1回適用するわり算ができる。 （何百何十，何百） \div （何十）	○	○	○	○	活動の姿 発言内容 発言内容 プリント・テスト 発言内容 ノートの記述内容 プリント・テスト	★
	(2) 何十でわる計算（あまりあり）の仕方を知り、その計算ができる。 〈1時間〉	① $90 \div 20$ の計算の仕方を(1)の計算の仕方から類推して、10をもとにしようとする。 ② $90 \div 20 = 4$ あまり10と計算できる。 ③ $90 \div 20$ の商は4で、あまりが10であると言える。 ④（何十，何百何十） \div （何十）=（何十）で、九九を1回適用して、あまりのある計算ができる。	○	○	○	○	活動の姿 プリント・テスト プリント・テスト	★
② 2けたの数でわる筆算（1）	(1) 2位数 \div 2位数（仮商修正なし）の筆算の仕方、検算の仕方を知り、その計算ができる。	①色紙87枚を1人に21枚ずつ分けると何人に分けられるかを求める立式ができる。 ② $87 \div 21$ の計算の仕方を図をもとにして考え、4人であり3枚を見つけられる。 ③筆算の仕方を、わる数が1位数から類推できる。 ④商は一の位に立つことができる。 ⑤わる数21を20とみて、商を4と見当づけられる。 ⑥ $87 \div 21$ の筆算の仕方 \rightarrow 商の4を一の位に立てられる。21と4をかける、87から84をひく、の手順にまとめられる。	○	○	○	○	発言内容 ノートの記述内容 発言内容 発言内容 発言内容 発言内容 ノートの記述内容 発言内容	★ ★

「数学的な考え方」の観点で
特に「表現」重視のものは
◎で表示。
特長

学習指導要領で
重視されている
「算数的活動」
特長

小単元名	到達目標（活動目標）	評価規準	評価の観点				評価の方法例	算数的活動
			関・意・態	考・え・方	技・能	知・理		
② 2けたの数でわる筆算(1) 6時間	⑦ $87 \div 21$ の計算の検算の仕方を、1位数でわる計算から類推できる。 ⑧ 検算のしかた わる数 \times 商 = わられる数 がわかる。 ⑨ (1) の型の計算を筆算でし、検算ができる。 (1時間)			○			発言内容 プリント・テスト プリント・テスト	★
	(2) 2位数 \div 2位数（過大商を立てたときの仮商の修正）の筆算の仕方を知り、その計算ができる。 (1時間)	① $86 \div 23$ の筆算で、23を20とみて商の見当をつけられる。 ② 商を4とみて計算すると、 $86 - 92$ でひけないことが言える。 ③ 商が大きすぎることから、1小さくして、商を3として計算できる。 ④ 過大商の場合の仮商修正1回のわり算の仕方を説明できる。 ⑤ ④の型の計算ができる。		○				★
	(3) 位数 \div 2位数（過大商を立てたときの仮商2回修正）の筆算の仕方を知り、その計算ができる。 (1時間)	① $81 \div 12$ の筆算で、12を10とみて商の見当をつけられる。 ② 商を8とみて計算すると、商が大きすぎることを指摘できる。		○				

特長 新教科書での追加内容などを、色文字で表示。

さらに思考力・表現力を伸ばす問題例

特長 単元の学習内容を使った「思考力」をのばす問題を例示。(学期に1~2問) 目標・解答例も提示。

$$\begin{array}{r}
 \boxed{1} \\
 3 \blacksquare \overline{) 8 \blacksquare} \\
 \underline{ \boxed{2}} \\
 \boxed{3}
 \end{array}$$

◆左の筆算は、わる数、わられる数ともにつぎの問題に答えましょう。また、そのわり算を完成させよう。

- ①にあてあまる数字を書きましょう。
- ②にあてはまる数のうち、いちばん大きい数はいくつですか。
- ③にあてはまる数のうち、いちばん小さい数はいくつですか。

【目標】 商の見当づけの場面を考えて、□にあてはまる数を論理的に求めることができる。

- 【解答例】**
- ① 2 $8 \div 3 = 2$ あまり 2 より、答えは2または1と見当づけられる。1だと②のところ、最大でも39なので、余りが必ずわる数より大きくなる。3では②のところ、90以上になってわられる数からひくことができない。
 - ② 78 「3■」の■が9のときがいちばん大きくなる。①が2だから $39 \times 2 = 78$ になる。
 - ③ 2 ③をいちばん小さい数にするには、わられる数の「8■」がいちばん小さくて、②がいちばん大きくなるようにすればよい。「8■」がいちばん小さくなるのは、「80」だから、 $80 - 78 = 2$